

# 平成 28 年度 事業 報告

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

我が国の経済状況をみると、平成 27 年に入って、「アベノミクス」が始まって 3 年目となりますが、為替は円安で株価は高値、企業収益は好調で雇用も改善という点ではすでに成功を収めたかと思われたものの、平成 28 年に入って一転、世界経済の先行き懸念される状況であり、個人消費や生産、設備投資といった実体経済の動きは、さほど目覚ましいものではありません。つまりところアベノミクスは「人々の期待を変える」という目標は半ば達成したものの、効果が期待された中、景気回復を実感させるところまでは至っていない状況下でありました。

こうしたシルバー人材センターを取り巻く環境変化が見られる中、本年度の請負契約額は 277,530 千円、派遣業務契約額は、13,434 千円、契約総額は 290,964 千円、前年対比 100.7%となり、設立当初からの目標としてきた契約額 3 億円に達しない状況となっています。

このように、依然として運営は厳しい状況ではありますが、平成 29 年度は安全就業、就業態勢の強化、就業開拓拡大の推進を図ってまいります。

また、会員数については、定年延長、再雇用及び会員の高齢化等により、入会者 55 名に退会者 51 名で 4 名の増の 509 名となりました。

次に主な事業について報告します。

- ▶ 就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上に努める。
  - ✓ 会員の口コミ、市広報、会報、ホームページ、マスメディア等を利用し会員増強を図りました。
  - ✓ 企業訪問（市役所含む）を 23 ケ所行い、就業開拓を行いました。
  - ✓ 特定の業務の指定を 17 業務し就業ローテーション化を図りました。
  - ✓ 毎月求人情報を提供し就業機会の拡大を図りました。
  - ✓ 「会員ひとり一顧客開拓運動」により 10 件の就業開拓ができました。

- ▶ 普及啓発事業を推進する。
  - ✓ 地域奉仕作業（剪定・草刈等）、県シ連主催の「シルバーの日」に参加（韮山時代劇場付近道路・狩野川河川敷ゴミ拾い）しました。また、会員有志による市役所庁舎及び韮山反射炉への門松設置を行いました。
  - ✓ シルバーまつりの開催及び各種イベントに参加し、市民と交流し事業のPRに努めました。
  - ✓ 会員と市民との参加型講習会を開催しシルバー事業の理解を深めました。
  - ✓ 市主催の交通安全早朝一斉街頭広報に参加しました。
  - ✓ 会報「シルバー伊豆の国市」を年2回、ミニ会報を2回発行とホームページの充実を図り、会員及び市民への情報発信に努めました。
- ▶ 会員の就業意識、技能の習得を図る。
  - ✓ シルバー育成講習会を4講座開催、参加者94名が受講し会員の技能習得を図りました。
- ▶ 安全就業対策と健康管理に努める。
  - ✓ 安全就業講習会を開催し安全意識の高揚を図りました。
  - ✓ 就業前の「KYチェックシート」の徹底を図り安全就業に努めました。
  - ✓ 安全就業委員会が抜打ちパトロールを5回と県シ連安全パトロールを実施し事故防止の徹底を図りました。
  - ✓ 会員へ市等の健康診断受診を推進しました。
  - ✓ 安全就業基準を制定しました。
- ▶ 福祉・家事援助サービスを推進する。
  - ✓ 市で実施する介護保険総合事業B型の参入のため家事援助研修会を実施し女性会員の加入を促進した。
- ▶ 財政基盤の強化と事務局機能の効率化を推進する。
  - ✓ 就業機会の開拓・拡大を行い受託収益の増加に努めました。
  - ✓ 消耗品等の購入時、インターネット通販を利用し安価な購入し経費削減に努めました。
  - ✓ 経常経費の削減に努めました。